

## 米販売動向調査について（全米販）（令和4年12月分）

1. 回答数 59 会員

2. 調査結果概要

### Q1：昨年12月と比べた令和4年12月（1か月）の米販売量

「変わらない」の回答が約3割で最も多いが、「やや減った」、「減った」の回答を合わせると約4割となる。

### Q3：3か月前（令和4年9月）と比べた販売動向

「やや良くなっている」、「良くなっている」の回答を合わせると約5割となり、DI値は「61.9」。

### Q5：3か月先（令和5年3月頃）の見通し

「やや悪くなる」、「悪くなる」の回答数が「やや良くなる」の回答数をわずかに上回り、DI値は「47.9」。

3. 集計結果

#### Q1：昨年12月と比べた令和4年12月（1か月）の米販売量

回答者数（会員）					
合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
59	7	12	18	11	11
100.0%	11.9%	20.3%	30.5%	18.6%	18.6%

#### Q3：3か月前（4年9月）と比べた販売動向

回答者数（会員）					
合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
59	13	16	17	12	1
100.0%	22.0%	27.1%	28.8%	20.3%	1.7%

**DI値**  
**61.9**

（参考）規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
65.9	58.8	62.5

#### Q5：3か月先（5年3月頃）の見通し

回答者数（会員）					
合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
59	0	17	23	16	3
100.0%	0.0%	28.8%	39.0%	27.1%	5.1%

**DI値**  
**47.9**

（参考）規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
45.5	47.5	49.1

※企業規模について

規模A：米穀の売上高が年間100億円以上、規模B：米穀の売上高が年間25億円以上～100億円未満

規模C：米穀の売上高が年間25億円未満

～主な回答理由～

#### Q1：現在（4年12月）の米販売量（前年同月との比較）

- 行動制限が無くなったが、現実的にはいまひとつ。
- 量販店では、前年よりもブレンドなど低価格帯の銘柄の販売ウェイトが増えた。
- 家庭用、卸間売買ともに動きが悪い。業務用は徐々に回復傾向。
- 外食、特に忘年会需要関連は前年と比較して徐々に回復してきた。

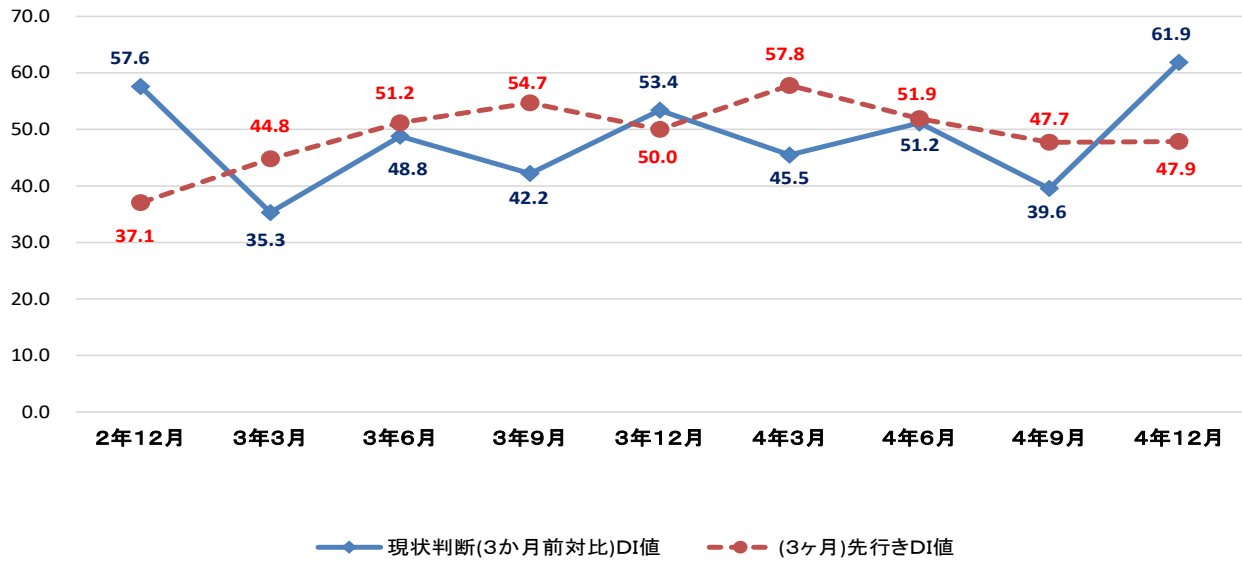
#### Q3：過去（3か月前）と現在の動き

- コロナ禍前には及ばないが、量販店向けは年末需要により販売は好調だった。
- 行動制限のない年末で外食関係は好調。
- 小売・外食向けともに、コロナ禍による影響は少なくなってきたように感じる。
- 卸間売買は、主食以外が牽引する形で好調を維持している。

#### Q5：将来（3か月後）の動き

- 諸経費高騰により価格転嫁せざるを得ないが、それにより消費者の購買意欲が下がることを懸念。
- 他食材も値上がりしているが製品価格に転嫁できておらず、中食関連では米の使用量を減らす動きが出てくると考えられる。
- 下位銘柄不足により、更に価格が高騰し、消費が鈍化すると見込まれる。
- 東京の米穀店では、都の支援事業により販売に影響が出る可能性がある。

### 【米販売動向調査（DI）の推移】



#### Q2：昨年12月と比べた令和4年12月（1か月）の米販売量

<仕向先別>	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
(小売店向け)		%	%	%	%	%
大手スーパー	100%	13.2	5.3	39.5	28.9	13.2
中小スーパー	100%	3.7	24.1	37.0	25.9	9.3
米穀専門店	100%	3.9	5.9	41.2	31.4	17.6
その他	100%	9.1	20.5	22.7	29.5	18.2
(外食産業向け)						
外食向け	100%	7.7	38.5	40.4	9.6	3.8
中食向け	100%	5.4	30.4	46.4	12.5	5.4
給食向け	100%	1.9	3.7	77.8	14.8	1.9

#### Q4：3か月前（令和4年9月）と比べた販売動向

<仕向先別>	合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	7.9	21.1	47.4	23.7	0.0	53.3
中小スーパー	100%	5.6	31.5	37.0	18.5	7.4	52.3
米穀専門店	100%	2.0	17.6	45.1	27.5	7.8	44.6
その他	100%	4.5	18.2	43.2	27.3	6.8	46.6
(外食産業向け)							
外食向け	100%	7.7	44.2	40.4	7.7	0.0	63.0
中食向け	100%	1.8	41.1	39.3	17.9	0.0	56.7
給食向け	100%	1.9	9.3	79.6	9.3	0.0	50.9

#### Q6：3か月先（令和5年3月頃）の見通し

<仕向先別>	合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	0.0	18.4	50.0	26.3	5.3	45.4
中小スーパー	100%	0.0	25.9	42.6	22.2	9.3	46.3
米穀専門店	100%	0.0	5.9	47.1	37.3	9.8	37.3
その他	100%	0.0	25.0	40.9	29.5	4.5	46.6
(外食産業向け)							
外食向け	100%	0.0	34.6	50.0	13.5	1.9	54.3
中食向け	100%	0.0	26.8	62.5	8.9	1.8	53.6
給食向け	100%	0.0	7.4	85.2	7.4	0.0	50.0

\*DI (diffusion index) の算出方法：内閣府で発表している「景気ウォッチャー調査」方式を採用した。具体的には、5つの回答選択肢に均等に0～1の評価点を与え、各回答の構成比に対応するそれぞれの評価点を乗じ、それらの合計を指数(%ポイント)としてDI値を算出。それが50の場合は横ばい(現状維持)を示す。0に近づくほど販売が低迷傾向にあることを示し、逆に100に近づくほど販売が好調傾向であることを示す。

(算出例)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
評価点 A	1	0.75	0.5	0.25	0
結果(構成比) B	17.8	20.0	20.0	22.2	20
各DI値 C=A×B	17.8	15	10	5.6	0
DI値(合計)	48.4→米販売の動きはほんの少し低迷傾向				